

原子力安全専門部会における審議状況報告

原子力安全専門部会では、平成25年7月8日に四国電力(株)から県へ提出された「伊方3号機の新規制基準に基づく原子炉設置変更許可申請に係る施設等の変更に関する事前協議」について、論点を整理(別紙参照)し、審議を行うとともに、現地調査を実施してきたところである。

これまでの部会における審議及び現地調査状況については、以下のとおりである。

<審議及び現地調査状況>

- 平成25年7月17日
 - ・ 原子力規制委員会から新規制基準の概要を聴取
 - ・ 四国電力(株)から伊方3号機原子炉設置変更許可申請等の概要を聴取
- 平成25年9月11日
 - ・ 今後の審議の進め方について議論し、論点を整理して重点確認項目を決定
- 平成25年10月16日
 - ・ 原子力規制委員会における審査状況及び現地調査の確認事項
 - ・ 更なる揺れ対策に係る取組みの評価方法について確認
- 平成25年10月17日(現地調査)
 - ・ 論点及び追加安全対策に係る施設・設備
- 平成25年11月19日
 - ・ 自然現象に対する考慮(火山、竜巻、森林火災)、火災に対する考慮、電源の信頼性
- 平成26年1月28日
 - ・ シビアアクシデント対策
- 平成26年1月28日(現地調査)
 - ・ 代表的な事故進展シナリオにおける対策の有効性に係る訓練
- 平成26年3月20日
 - ・ 耐震・耐津波性能
- 平成26年6月4日
 - ・ 耐震・耐津波性能(基準地震動の変更に係る検討状況等)

原子力安全専門部会における審議の論点

新規制基準により追加された以下の機能、性能等のうち、下線部について、重点的に確認していく。

I 強化された基準

1 大規模な自然災害への対応強化

- ① 耐震・耐津波性能
- ② 自然現象に対する考慮（火山、竜巻、森林火災）

2 火災・内部溢水・停電などへの耐久力向上

- ① 火災に対する考慮
- ② 内部溢水に対する考慮
- ③ 電源の信頼性
- ④ その他の設備の性能（モニタリング）

II 追加された基準

1 シビアクシデント対策

※代表的な事故進展シナリオにおける対策の有効性を確認

- ① 炉心損傷防止対策
- ② 格納容器破損防止対策
- ③ 放射性物質の拡散抑制対策
- ④ 指揮所等の支援機能の確保

2 テロ対策

- ① 意図的な航空機衝突への対応